

動物のための防災準備

大 災害が起きた時、「広域避難所」に動物といっしょに避難することになります。しかし、そのとき避難所の中にいっしょに入れません。動物は、近くの「動物救護所」で過ごすことになります。

そのために、必要な準備をしておきましょう。

動物救護所では、愛犬愛猫に必要な生活用品を、基本的に飼い主の責任で揃えることになります。

1. 愛犬愛猫の食事 3 日分
2. ケージ。リード。ハーネス
3. 迷子札、鑑札票、マイクロチップ等の装着
4. 食器
5. 愛犬愛猫の写真、数枚（捜索や確認が必要な時に使います）

治 療中や、心臓病などの継続投薬が必要な動物には、非常時に備え、薬の予備を持つ習慣をつけてください。



ワクチン、ノミダニ予防、フィラリア予防など、健康管理も忘れずに！

1. 食事について

災害が発生してから、行政の救援が動き出すまで3日かかると言われています。3日間はしのげるようにしておきましょう。

2. ケージについて

緊急退避の時、愛犬や愛猫が生活できるような大きなケージを、持ち出せるとは思いませんが、同行して移動する時には、小型犬や猫はキャリーバックに入れてください。



3. 個体識別について

災害時には、愛犬愛猫が飼い主と離ればなれになることも往々にして発生します。行方不明のこの子達を探すために個体識別が大変重要になってきます。



身元を確認するためには、迷子札、登録鑑札票、首輪、リボン、マイクロチップ等がありますが、この中で最も有効なものはマイクロチップです。マイクロチップは、動物の頸部の皮膚の下に、専用注射器で埋め込みます。一度装着すれば、半永久的に間違いなく個体識別が可能です。

4. 食器について

救護所内の動物達は、慣れない環境でかなり緊張しているため、食欲の無いことも多いでしょう。そんな中でも自分のいつも使っている食器なら少しでも落ち着けるとと思います。マイ食器を忘れずに1.の3日間の食事と一緒に持ち出してください。



5. 写真について

できれば健康手帳があればベストです。を記入し、飼い主といっしょに写って



手帳に、ワクチン歴等の写真を貼り付けてお

いてください。



災害が発生したら

人命第一！

愛犬や愛猫が、災害を無事乗り切るための頼みの綱は、飼い主であるあなた自身です。まずはあなたが無事でなければなりません。慌てずに、まず、自分を含めた家族の安全を確保してください。

動物といっしょに避難する。

いくら避難所が近くても、危険地帯に指定されると自宅に戻れなくなる場合が発生します。自宅に残されて、自力で生活できる動物はいません。もちろん状況にもよりますが、事情の許す限り同行避難してください。



猫や小型犬はキャリーバックに！

人間もパニックになっていますが、特に猫はもっとパニックになっています。家でおとなしい猫でも外に出ると変わってしまう猫も多いようです。逃げてしまうと見つからないので、移動中は絶対に蓋を開けないようにしてください。安全な場所に到着して落ち着いてから、開けるようにしてください。



首輪は少しきつめ、リードは丈夫なものを！

中型犬や大型犬は、救護所で入るケージは無い可能性が高く、2～3日はリードで係留して管理することになります。係留時だけでなく、避難途中で少しきつめにしておく必要があります。伸縮性のリードや胴輪はよくありません。

